

リ 獸脂ヲ輸入センコト企ツル者アレモ現今油ヲ輸入スル者ハロンドン及ビ瑞士國ノ會社ナ
リ又マルセルノ會社コトモ輸入者タルノ地位ヲ得シヨラ勤ムレモ其成巧ハ覺束ナシ何ト
ナレバマルセル油ハ其價廉ナレモ其品質ニ至ツテハ遠ク錫蘭産ノコ、ーナット油ニ及バサ
レバナリ

○バク製油所ノ製油額 千八百八十九年中ニ於ケル各バク製油所ノ受入レタル油ノ量ハ

一億八千六百二十二万〇四百七十「ブーゾ」ニシテ其賣拂額ハ左ノ如シ

外國輸出ノ分 九百〇九万〇〇六十四「ブーゾ」ナフサト三千二百七十五万八千二百三

十一「ブーゾ」ノ製油ナリ

内國ニテ賣拂 一千五百四十九万八千二百「ブーゾ」ナフサト二千三百三十六万一千八

ヒタル分 百八十一「ブーゾ」ノ製油ト七千五百二十一万九千八百五十四「ブーゾ」ノ油

滓ナリ又裏海ノ對岸ヘ賣拂ヒタルモノハ八百〇五万五千六百八十六「ブ

ーゾ」ノ製油ト百五十八万七千二百五十七「ブーゾ」ノ油滓ナリ

○霜ニ堪ユベキセメント (甲)ポートルランドセメント「リートル」ト河砂三「リートル」ト(乙)石

灰セメント「リートル」ト河砂三「リートル」トノ混合物ノ各ヘ水ニ「リートル」中ニ「キロ」ノ結晶

曹達ヲ溶カシタル液ヲ加ヘ之ヲ零以下十二度半マデ冷ヤスモ少シモ其粘着力ヲ失フコトナシ

ト

○パレスタインチ貫通スル鐵道 Industries vol. VIII p. 404 亞米加ニ於テ今般埃及新英陸地

會社ト稱スベキ一ノ新會社ヲ創立セントスル者アリ其目的トスル所ハアレキサンドリア港

ヲ發達セシメ及ビバレストアインヲ貫通スル鐵道ヲ築造スルニアリテ其經過スル地ハ聖書ニアル舊跡ヘブロン、エルサレム、シエリコ、ナザレ、ガリ、ハ、ー等ニテダマスコマテ達スルモノナレハ聖地ニ至ルノ旅人ハ近世ノ最良鐵道ヲ維持スルノ費用ヲ支弁スルナルベシ

○エッセンノクルップ製炮所 Ind. vol. VIII. p. 380 デュッセルドルフニ在ル北米合衆國ノ領事

ハクルップ製炮所ノ略史ヲ報シ特ニ其創立者ナル先代クルップ氏ガ千八百八十七年七月ニ於テ死去セシ以後ニ係ルヲ述ブル所ニヨレバ當時氏ハ死去ニヨリテ此大定業モ未來ノ運命如何ニナリ行クベキヤヲ考フレバ其創立者ノ代ニ於ケル如ク名譽ト繁榮ヲ享クルヲ能ハザルナラントハ一般世人ノ杞憂セシ所ナリシニ左ハナクテ却テ其獨子ナル今代ノ主人ハ其先父ヲシテ世界中ニ其名ヲ轟カシメタルト同一ノ勢位アル精神ヲ以テ業務ヲ管理セルヲ以テ少シモ秩序ヲ乱サズシテ益々其名聲ト繁昌ヲ進メタリ當主ノ父ナルクルップ氏ノ死後ニ於テ氏ガ第一着ニナセシヲハ當時七万ノ人口アルエッセン市ヘ公共ノ改良事業ニ使用スル爲メ三十万「マルク」我金貨七万五千圓ヲ捐金セシヲナリ又次ニ當主及ビ其父ノ時代ニ於テ其事業ニ熱心ニ從事セシ職工ニシテ貧困疾病又ハ不具トナレル者ヲ救助スル爲ニ百万「マルク」我金貨二十五万圓ノ基金ヲ支出セシヲナリ即チ斯ル仕組ミノ爲メニ善良ニシテ最モ熟練ナル職工ヲ割合安キ賃金ヲ以テ雇フヲ容易トナレリ近頃ハ同所ノ縱覽ヲ禁シテ其工業ヲ秘密ニセリ而シテ同工場ノ地積ハ大約一千「エークル」我百十一町步余ニシテ三年前ニ於テ同所ノ各部ニ使役セル工手ノ合計ハ二万人ナリシモ當時ハ二万五千ヲ超過セントス而シテ其各部ノ主ナル者ヲ舉グレバエッセンニアル鑄鋼所エッセン及ビボカムノ近傍ニアル石炭坑三ヶ所日耳曼國內ニ鐵